

令和7年度 明石市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員： 2名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

認知症サポーターの養成等「あかしオレンジサポーター制度」の推進
チームオレンジの構築等に係る取組への連携、協力
認知症カフェ等への取り組みの支援
認知症・若年性認知症家族会への支援
認知症初期集中支援事業の実施
市の認知症施策への協力 など

報告者氏名： 市町村担当者 大石 尚美
地域支援推進員 木ノ下 久子 増田 佳織

【明石市】認知症施策全体図

認知症の理解啓発・
地域支援体制の充実

- ・ 認知症あんしんまちづくり条例
- ・ あかしオレンジサポーター制度
- ・ 明石市認知症あんしんネットワーク会議
- ・ 認知症ケアパスの活用

早期の気づき・
早期支援の推進

- ・ 認知症早期支援事業
- ・ 初期集中支援事業
- ・ 精神保健相談
- ・ 認知症相談ダイヤル

権利擁護・
在宅生活の支援

- ・ 認知症あんしんプロジェクト
- ・ 診断費用の完全無料化
- ・ 認知症サポート給付金の支給
- ・ あかしオレンジ手帳とあんしんチケットの配付

若年性認知症施策の
推進

- ・ 若年性認知症ケアパスの作成等、若年性認知症の周知啓発
- ・ 若年性認知症家族会等への支援

① 認知症カフェ立ち上げにむけた取り組み

住民の「身近な地域に気軽に集える場を作りたい」という声と、総合相談における認知症に関する相談の増加から居場所づくりの必要性について検討

地域の現状

- ・ 男性介護者からの相談の増加や、抱える問題の複雑化。
- ・ 高齢者の1人歩きや認知症により生きづらさを抱えた方の近隣トラブルや、金銭管理に関する相談が多い。
- ・ 近隣に支援者がおらず、問題が重度化してから相談に至るケースが散見されていた。
- ・ 認知症の初期の段階での相談数が少ない。



検討内容

- ・ 近隣に相談相手や集まれる場所があれば、地域住民が安心して生活できるのではないか。
- ・ 地域の中に認知症カフェが立ち上がることにより、地域活動の担い手など新たな地域資源が増え、地域の中で自然な見守りが広がるのではないか。
- ・ 当事者や家族、関係機関に横のつながりができれば、問題が複雑化する前に支援につながるのではないか。

チームオレンジ

当事者
家族

介護経験者

有料老人ホーム
～場所の提供～

認知症家族会

地域の介護
サービス事業所

「気軽にふらっと立ち寄れる場
所に」
「フラットで敷居がなく誰でも
参加できるように」
という願いがこめられ、
～ふらっとカフェ～
という名前に決定！

地域の
ボランティア

社会福祉協議会

担当地区の
民生児童委員

地域総合支援
センター

～プレオープンの様子～



- ・ボランティアや家族会などが案を出し合い、体操や歌、お茶を飲みながらの座談会を実施。
- ・当日参加が難しい当事者の方も、作品の展示を通して参加して頂いた。

② 若年性認知症家族会「ひまわり」の活動支援

地域の現状

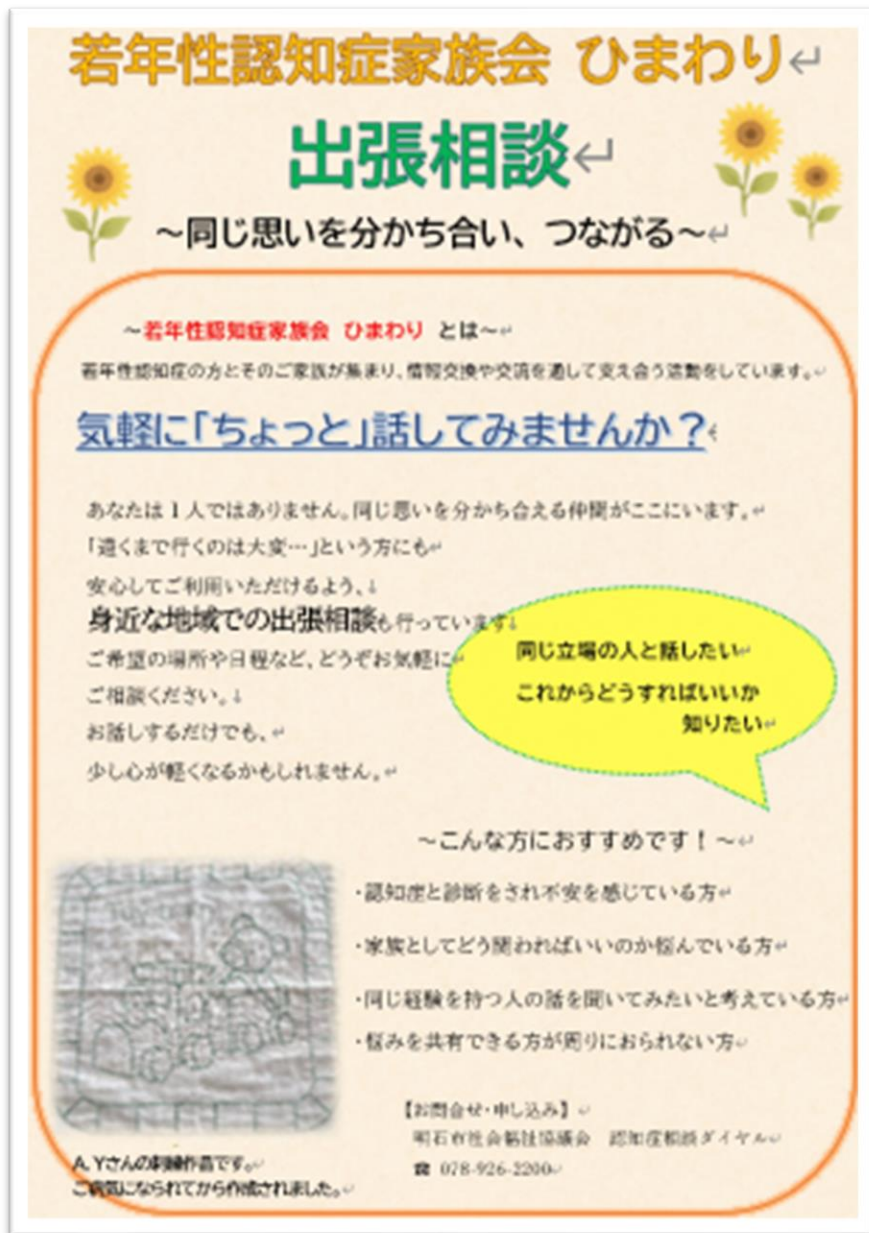
- ・ 若年性認知症に関する相談数が少なく相談窓口が周知できていない。
- ・ 疾患の特性上、進行が早く本人含め家族が戸惑ってしまう現状がある。
- ・ 疾患罹患時には就労している方が多く、集いの場等へ行くことが困難。
- ・ 困りごとの内容が高齢者とは異なる。



検討内容

- ・ 気軽に相談できるように場所は固定せずに出張相談という形で活動を実施していく。
- ・ 家族の相談内容に応じて関係機関へつなぐ役割を担っていく。
- ・ 相談してよかったと思ってもらえるように、若年性認知症の方や家族の特有の悩みに寄り添ったり使える制度の情報も伝えたい。

～チラシ作成～



若年性認知症家族会 ひまわり

出張相談

～同じ思いを分かち合い、つながる～

～若年性認知症家族会 ひまわり とは～
若年性認知症の方とそのご家族が集まり、情報交換や交流を通して支え合う活動をしています。

気軽に「ちょっと」話してみませんか？

あなたは1人ではありません。同じ思いを分かち合える仲間がここにあります。
「遠くまで行くのは大変…」という方にも
安心してご利用いただけるよう、
身近な地域での出張相談も行っています！

ご希望の場所や日程など、どうぞお気軽に
ご相談ください。
お話しするだけでも、
少し心が軽くなるかもしれません。

～こんな方におすすめです！～

- ・認知症と診断をされ不安を感じている方
- ・家族としてどう関わればいいのか悩んでいる方
- ・同じ経験を持つ人の話を聞いてみたいと考えている方
- ・悩みを共有できる方が周りにおられない方

【お問合せ・申し込み】
明石若年性認知症家族会 認知症相談ダイヤル
☎ 078-926-2200

A.Yさんの手紙制作です。
ご病気になられてから作成されました。

家族会の在り方検討会を実施しました！！

介護は一つずつ経験しながら学んでいくものということ伝えたい

「どうしよう」と思ったときに、気軽に相談できるつながりやサポート体制を構築したい

専門家でなくても介護経験から実践的アドバイスが共有できる仕組みを作りたい





最後に・・・

認知症の人やその家族が孤立することなく、地域全体で見守り支え合うことができるような“やさしいまちづくり”を推進していきたい。